



上山小学校「風のたより」

令和7年1月8日（水） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



満ちてゆく

久しぶりに「初日の出」を拝みました。毎日出てくる太陽なのですが、「初日の出」は特別に感じます。毎朝、日の出の瞬間を見るわけではないからということもあります。皆さんもお分りのとおり、万物の生命をつかさどる偉大な太陽が昇るスピード感と圧倒的な存在感を視覚的にとらえることができるからです。



夜明け前の静けさと徐々に明るさを増していく東の空。日の出を待つ何とも言えない時間。まだ太陽は見えないけれど天に向かって伸びる光の柱。一瞬ダイヤモンドの様に輝き、ただそれだけで温もりを感じるような感覚。そこからの太陽が昇るスピードは、目を離すとあっという間に過ぎ去ってしまうかと思えるほど速いです。「小さなことにくよくよするな！」「今からでも遅くはない！笑顔で進め！」とエールを送られたような気持ちになりました。肩の力を抜いて、修了まで焦らず歩いていきましょう！

「手を放す、軽くなる、満ちてゆく」 藤井 風「満ちてゆく」より

竹とんぼ

金子みすゞ

キリリ、キリリ、竹とんぼ、
あがれ、あがれ、竹とんぼ。

一階の屋根よりまだ高く、
一本杉よりまだ高く、
かつらぎ山よりまだ高く。

私のけすった竹とんぼ、
私のかわりに飛び上がれ。

キリリ、キリリ、竹とんぼ、
あがれ、あがれ、竹とんぼ。

お山の煙よりまだ高く、
ひばりの唄よりまだ高く、
かすんだお空をつき抜ける。

けれどもきっと忘れずに、
この小みちへ下りてこい。

伝えたいことは、伝えられるうちに

いつからでしょうか？特に若者の流行り言葉として省略語が使われるようになりました。

私は、「あけおめ」「ことよろ」という言葉に違和感があります。新年のあいさつに省略語はふさわしくないと思っているからです。ただ、省略されることが定番になった日本語に次のような言葉があります。それは「行ってきます。」という言葉です。

「行ってまいるが、必ず帰ってきます。」の省略語なんだそうです。帰ってくるのが当たり前ではなかった時代に「必ず帰ってきます。」という誓いが込められていたのだそうです。さりげなく遣っている言葉にこんな素敵な想いが込められていたとは、私は知りませんでした。これからは、いつもの言葉に少し想いを込めながら伝えようと思います。皆さんは、大切な人に心から想いを伝えていますか？言葉とは、ほんの少しの伝え方で、ニュアンスで、意味合いが、伝わり方が大きく変わってくる場合があります。特にメールなどの体温を感じない文字は思いどおりに伝わらないことが多いように感じます。

伝えたいことは、伝えられるうちに……。



新年ぶらりフリータイム

またまた長崎まで単車を飛ばし、鼻水垂れながら帽子を探しに行きました。似合わないものはやはり似合わないということを確認した後、ココウオークの本屋さんとカフェが併設されているところで、コーヒーをいただきました。そのあと多肉植物の本をしばらく眺めながら、寄せ植えまでできるようになりたいと思いました。せっかく長崎まで行ったの



で、Zoff でサングラスを買いました。自分で選ぶといつも同じようなものになるので、写メ自撮りをしながら選びました。さて、似合っているのかな？(*^*)

☆上山小のHPもご覧ください。学校だより（表）の2次元コードをご利用ください。